

網走ほんりゅう組

第444号
網走教職員組合
〒090-0052
北海道北見市北進町4丁目5-31
TEL0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
ab-ky@forest.ocn.ne.jp
7月25日

組合員が語る学校や学級の現状

こんな様子です。訪問教育。

現在、特別支援学校では、「個々の生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う」という「自立活動」が教育課程に位置づけられていて、小・中学校、高等学校のそれとは大きく違うところです。また、特別支援学校では、「特に必要がある場合は、各教科、科目の全部又は一部について、合わせて授業を行うことができる。」(学教法第百三十条)とし、更に、知的障害や重複障害の児童生徒を教育する場合は、「特に必要があるときは、各教科、道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせて授業を行うことができる。」(同一項)となつています。そして、重複障害の児童生徒を教育する場合や教員を派遣して教育を行う場合において、「特に必要があるときは、特別の教育課程によることができる。」(第百三十一条)としてい

ます。学習指導要領の中では「重複障害者のうち、特に必要がある場合、各教科、道徳、特別活動の目標及び内容に関する事項の一部又は各教科に替えて、自立活動を主として指導を行うことができる。」となつています。と、前置きが長くなりましたが、今年度、北見支援学校で訪問教育(「教員を派遣して教育を行う場合」の教育です)を担当して二年目になります。去年は小学部の児童一名のみの受持ちでしたが、今年度は中学部にも訪問の生徒が入ってきて二名の受持ちになり、二つの学級の担任となつています。訪問教育では、一人につき週三日、一日二単位(一二〇分)の授業が行われることになっていきますので、今年度は月曜日と木曜日が午前と午後、火曜日は午前のみ、水曜日は午後のみの週六回の授業が行われています。金曜日は授業のない日ですが、在校の生徒の補欠などが組み込まれています。小学部の子は療養デイサービスに通っていて、主にそちらへ出向いて授業を行っています。中学部の子は自宅へ行っての授業となります。教育課程としては、前段に述べたとおりとなつているので、「一人とも「自立活動」「道徳」「特別活動」の三領域のみとして授業を行っています。「道徳」は二人とも名

前を呼ばれてそれが何らかの形で返事をするというのが今の目標になっていきます。「特別活動」は運動会や学習発表会、修学旅行など、登校したり外へ出かけたりの特別な授業です。なので通常の授業は主に「自立活動」となっています。「自立活動」といっても、体のこと、健康の保持、コミュニケーション、認知など様々ですが、図工的だったり音楽的だったり教科の要素も織り交ぜながら取り組んでいます。(北見支援学校・和田)

通級指導教室の役割

今年度は通級指導教室の担当になりました。通級指導教室とは、通常の学級に在籍する、比較的軽度の障害がある児童生徒に対して、障害の状態に応じて特別な指導を行うための教室です。教科の学習は通常の学級で行います。障害の状態を改善・克服するための自立活動を中心に、必要に応じて各教科の補充指導を行います。西小学校では現在25名(1年生3名、2年生3名、3年生6名、4年生3名、5年生5名、6年生5名)の子が通級教室に通っており、さらに2名の子が今後通級教室に通う予定です。指導としては、認知機能(記憶、知覚、注意、言語理解、判断・推論など)を高めるための五感を育むトレーニング、感情統制の弱さを克服できるようなトレーニング対人スキルを高めるためのトレーニングなどいわゆるSSTを中心に行っています。形態としては個別と小集団をミックスして行います。個別指導の時間ももちろん大事ですが、やはり「子どもは子ども同士の関わりの中で育つ」部分がとても多いと実感しており、小集団での活動を特に大切にしています。具体的な指導内容は、間違い探しやドットつなぎ、カルタ遊び、計算ゲーム、言葉探し、迷路遊び、視写、おりがみ遊び、あなたならどうする物語、お悩み相談室、トランプ遊びやボードゲーム、ブロック遊びなどミックスして行います。それぞれの活動がコマ切れにならないように、例えば、おりがみ遊びをする際には、それぞれが分担したいくつかの部品を合わせて作品を作るなど、協力しなないと目的が達成できないような仕掛けを入れたりします。子どもたちは基本的には週1〜2時間程度の決まった時間に来室し、指導

を受けますが、中には教室にいられない子ども数名おり、1日のほとんどを通級教室で過ごすこともあります。自己評価が低くなっている子どももいますので、さまざまな活動を通して、自信をつけていくのも通級教室の大切な役割です。(北見西小学校・山本)

修学旅行を通して

修学旅行シーズンですね。私の学校も7月の半ばに実施されます。運動会が終わるや否や、慌ただしく取り組みが始まるわけです。子どもたちの興味関心は、当然、「班編成」や「バス座席」に集中するわけです。誰と一緒にいけば快適な旅行を送れるのかを、子どもたちなりに考え始めます。「好きな人どうしがいい!」「じゃんけんがいい」子どもたちは、あれこれ勝手なことを言うわけですが、最高学年たる6年生が、そんなことではいけません。

そこで、我が6年1組(1クラスしかない)では、決めごとを行動班、宿泊班、買い物班、バスの座席に分け、それぞれについて決め方を提案しました。①希望を取り先生が調整する。②子どもどうしで話し合っって自由に決める。③先生が決める。④くじ引きで決める。です。

全員からアンケートを取り、集計した結果を伝え、反論があれば理由を述べるやり方で進めていきました。子どもたちも、自分たちの利益を守るために必死です。なかなかいい事を言うものですね。結果、行動班は①、宿泊班は③、買い物班は②、バス席は④で収まりました。

20数年前は、学年集会の中で教師原案を全員で修正させ、利益を勝ち取らせるやり方もありました。「腕時計は必要なし」に、真っ向から立ち向かう6年生の姿がありました。時代は変わって、時間的にも余裕のない今ですが、「みんなの力で何かをつくり上げる」気持ちだけは持たせてあげたいと思っています。(北見西小学校・勝田)

同封のチラシを配付して、先生方にも参加を呼び掛けましょう!!。

夏の合宿研

- いつ 8月19・20日
- 1日目
 - どこ 市民会館5号室
 - 内容 講演会
「新しい学習指導要領を考える」
- 2日目
 - どこ 本部事務所
 - 内容 実践交流
- 宿泊 ホテル黒部

